

2023年度活動のまとめ

- 第7次中期計画に沿って、「消費者が一人ひとりの価値観を持ってくらせる、福井らしい地域社会の実現への役割立ち」を理念として、行政を中心に地域の諸団体、市民グループ、福井県民生協とも連携しながら、「消費者市民社会とSDGsの実現」、「福井のくらしにあったくらし方提案」をすすめました。
- 経常収益は参加費収入が計画・前年を下回りましたが、会費収入と委託収入が計画通り推移し、計画を上回りました。(実績5,594千円、計画比101.2%、前年比99.5%)経常費用は諸謝金や会議費が計画を上回り、計画・前年を上回りました。(実績5,672千円、計画比102.8%、前年比101.6%)経常増減額は計画・前年を下回りました。(実績△78千円、計画差△88千円、前年差△120千円)
- 19年目となった福井県消費生活センター事業である「消費生活セミナー」および9年目の消費者教育担い手養成講座「くらしの基本セミナー」の受託事業は、ハイブリット形式(実参加とオンライン参加の同時開催、以下略)で開催しました。「消費生活セミナー(210人)」、「通信セミナー(598人)」、「担い手養成講座(252人)」、「鯖江市受託事業(153人)」と全体で1,000人を超える参加がありました。
- SDGsとエシカル消費の取り組みを行いました。福井県からのエシカル消費実践事業の受託業務は5年目となり、持続可能な社会の実現に向けての普及啓発活動の推進を前年度に引き続きオンラインを活用して取り組みましたが、参加人数に課題を残しました。
- 福井の地域にあったくらし方提案として、男性の食の自立や社会参加を目的とした「男の料理」、敦賀エリアでの「おとなさま cooking」、子育て層を対象とした「食」に関する講座や不安や悩み相談会を開催しました。また地域からの要請に応じて、SDGsをテーマとした「出前講座」への対応を行いました。
- 「消費者のくらし向きに関するアンケート」調査を年2回取り組み、県民の消費マインドの傾向を発表し、報道機関を通して広く県民に情報発信することができました。

	企画数(回)			参加人数(人)				
	実績	前年実績	前年比	計画	実績	前年実績	計画比	前年比
■消費者セミナー	18	18	100.0%	1,000	1,095	1,047	109.5%	104.6%
通信セミナー参加者数	-	-	-	560	598	514	106.8%	116.3%
通信セミナー修了者数	-	-	-	480	480	434	100.0%	110.6%
消費生活セミナー	4	4	100.0%	210	210	293	100.0%	71.7%
担い手養成講座(延べ参加人数)	10	10	100.0%	180	252	177	140.0%	142.4%
鯖江市委託事業	4	4	100.0%	130	153	143	117.7%	107.0%
■エシカル消費実践事業(オンライン)	4	4	100.0%	1,000	520	753	52.0%	69.1%
■ふくい・くらしの研究所独自講座	5	1	500.0%	220	364	100	165.5%	364.0%
■ハーツきつず食育講座	12	13	92.3%	180	154	145	85.6%	106.2%
■出前講座・講師紹介	5	7	71.4%	240	371	201	154.6%	184.6%
■男の料理・料理ライブなど	23	28	82.1%	180	125	147	69.4%	85.0%
合計	67	71	94.4%	2,820	2,629	2,393	93.2%	109.9%
■会員数	-	-	-	250	240	243	96.0%	98.8%
個人会員	-	-	-	223	215	220	96.4%	97.7%
団体会員	-	-	-	27	25	23	92.6%	108.7%

重点的な取り組みのまとめ

1. 消費者市民社会の実現を目指して

(1) 消費生活セミナー(福井県消費生活センター委託事業)

消費生活セミナーは、7月に親子講座をリアル形式で1企画、9月～11月に「くらしの講座」をハイブリット形式で3企画(物価高に負けない家計管理、新たな遺伝子組み換え制度、消費者トラブル)開催しました。(参加人数210人、計画比100.0%、前年比71.7%)前年同様、ハイブリット形式での企画としたことで、1企画当たりの参加人数は60人を超えました。「くらしの講座」1企画当たり参加人数62.6人、オンライン参加人数122人、構成比64.9%)

開催日	講座名	参加数
7/22(土)	【親子講座】 「楽しく学ぼうSDGs ♪SDGsカードゲームとみつろうラップ作り」	22人
9/30(土)	【くらしの講座】 「物価高に負けない家計管理」	46人
11/4(土)	【くらしの講座】 「知っておきたい！新たな遺伝子組換え表示制度」	56人
11/18(土)	【くらしの講座】 「落語で学ぶ 消費者トラブルあれこれ」	86人
消費生活セミナー 合計		210人

(2) 消費生活通信セミナー(福井県消費生活センター委託事業)

くらしに関わる学習の場として消費生活通信セミナーに取り組みました。(受講者数598人、計画比106.8%、前年比116.3%、修了者数480人、計画比100.0%、前年比110.6%)一般受講者数は前年を下回り広報活動に課題を残しました。(一般受講者数61人、前年比95.3%)前年に引き続きオンラインでの受講に取り組み、ほぼ前年同様の参加をいただきました。(オンライン受講者61人、前年比93.8%、受講者構成比10.2%)

(3) 消費者教育担い手養成講座(福井県消費生活センター委託事業)

次世代の消費者教育の担い手育成を目的に、10回連続講座をハイブリット形式(内、2回はリアルで体験企画)で開催しました。受講者42人(計画比168.0%、前年比168.0%、オンライン22人、会場20人)、のべ参加人数252人(計画比140.0%、前年比142.4%)、修了者数は見逃し配信効果もあり22人(計画比146.7%、前年比129.4%)となりました。(見逃し配信利用率10.3%)消費者団体の代表者に団体の活動紹介をしていただき、受講生に消費者団体活動について興味をもっていただく機会をつくり、14人が消費者団体への加入を希望されています。

開催日	講座名	参加数
9/8(金)	【開講式】福井県消費生活センター 柳原所長 ご挨拶 【エシカル消費のすすめ】 「消費の力が社会を変える 今私たちにできること」 【団体との交流】福井市くらしの会	31人
9/15(金)	【もったいないを見直すレシピ】 「余った食材あるもので 無駄にしない使い切り」 【団体の紹介】大野市消費者グループ連絡協議会	21人
9/22(金)	【持続可能な食生活のカギ】 「次世代につなぐ食について考えてみませんか？」 【団体の紹介】坂井市消費者団体連絡協議会	28人

開催日	講座名	参加数
9/29(金)	【物価高に負けない家計管理】 「本格的な物価高の到来 新しい家計管理法にチャレンジ」 【団体との交流】敦賀市消費者連絡協議会	24人
10/6(金)	【コロナ禍の住まいの見直し】 「自分らしく快適に過ごすには？ 毎日が楽しくなる空間づくり」 【団体との交流】越前市消費者グループ連絡協議会	23人
10/20(金)	【明日に備える防災の心得】 「気象情報の読み取り方 リアルタイムの情報を知る」 【団体の紹介】鯖江市くらしをよくする会	24人
10/27(金)	【商品テストを体験しよう】 「センターの役割について学ぼう 食品の塩分濃度測定&塩のとり方」 【団体との交流】嶺南消費生活研究会	26人
11/10(金)	【温暖化防止に繋がる工夫】 「家庭におけるムリ・ムダ・ムラのない省エネ&ゴミの減量について考えよう」 【団体との交流】勝山市消費者団体連絡協議会	27人
11/24(金)	【いまどきのネットトラブル】 「上手にネットと付き合いおう トラブル事例と対処法」 【団体の紹介】小浜市消費者協議会	28人
12/1(金)	【まとめ・消費者市民社会】 「私たちが創る消費者市民社会 考え、判断し、行動する」 【閉講式】福井県消費生活センター 柳原所長 ご挨拶 【団体との交流】福井県消費生活研究会	20人
合計		252人

(4) 福井県エシカル消費実践事業(福井県委託事業)

県民へのエシカル消費普及啓発を目的に「エシカルチャレンジ2023」に取り組みました。福井県からの受託事業も5年目となり、昨年に引き続きオンラインを活用して取り組みましたが、計画・前年を下回る参加者数となりました。(のべ応募人数520人、計画比52.0%、前年比69.1%、フォロワー数786人、前年比147.5%)特に50代以上の方の参加が減少しました。

(5) 鯖江市食の安全安心講座(鯖江市委託事業)

鯖江市より既存の「食の安全安心講座」に加えて、「食品関連事業者研修事業」を受託し取り組みました。(参加人数153人、計画比117.7%、前年比107.0%)親子講座を2企画(37人)、鯖江高校の生徒を対象とした出汁の文化を通じたSDGsの学習会を1企画(31人)、鯖江商工会議所食品関連事業者向けにSDGs関連講座2企画(85人、内1企画は動画学習50人含む)を開催しました。

開催日	講座名	参加数
7/29(土)	【食の安全安心講座(親子体験講座)】 「地球に優しいエコクッキング」	37人
9/5(火)	【食品関連事業者研修】 「食品ロスの現状と対策」	35人
10/5(木)	【食の安全安心講座(体験講座)】 鯖江高校「出汁の文化を通じてSDGsを学ぼう！」	31人

2月	【食品関連事業者研修】 「食品ロスの現状と対策(DVD配布)」	50人
合計		153人

(6) 独自企画

今年度より、福井県や鯖江市からの委託事業を補強する形で、ふくい・くらしの研究所独自企画として「くらなびカレッジ」を開設し、「ハイブリット形式で4企画開催しました。(参加人数251人、計画比209.2%)また、総会記念企画として、「値上げ時代の節電&節約術」と題して講演会をハイブリット形式で開催しました。(参加人数103人、計画比103.0%、前年比103.0%)

開催日	講座名	参加数
7/8(土)	【総会記念講演会】 「値上げラッシュ時代の節電&節約術」	103人
10/14(土)	「レッツトライ! ゴミを減らそう 家庭でできる工夫とは？」	59人
11/9(木)	「地球温暖化につながる ムリ・ムダ・ムラのない省エネ」	68人
12/2(土)	「終活の今どき始めどき」	70人
12/9(土)	「ムリなくできる健康寿命の伸ばし方」	64人
合計		364人

2. 福井の地域にあったくらし方提案

(1) 食育講座

乳幼児をもつ保護者を対象に、福井県民生協の子育て支援センターハーツきつずで「食育講座」を12回行い、のべ154人の親子が食生活に関するさまざまな内容を学びました。(計画比85.6%、前年比106.2%)毎回、食の悩みや不安相談などに対応しました。

(2) 料理を通したくらし方提案

料理教室「男の料理」を福井地域で19企画開催しました。(参加人数111人)また、敦賀エリアの会員拡大を目的とした料理教室「おとなさま cooking」を3企画開催しました。(全体参加人数125人、計画比69.4%、前年比85.0%)

(3) 出前講座

行政(福井県・あわら市)、公民館、丸岡中学校、豊小学校からの依頼に応じ、SDGsをテーマに出前講座に対応しました。(参加人数371人、計画比154.6%、前年比184.6%)

3. 情報ネットワーク

(1) 情報誌・通信・ホームページ

- ① 「情報誌くらなび」は年2回発行、福井県民生協の総代向けに「くらなび通信」を毎月発行しました。また、ホームページやインスタグラムなどで、各種講座の案内や報告を行いました。エシカルチャレンジ含めたフォロワー数は1,546人となりました。(計画比118.9%、前年比124.6%、くらなびのみフォロワー数760人、前年比103.4%)
- ② 会員数は240人(団体会員25含む)と計画・前年を下回りました。(計画比96.0%、前年比98.8%)
- ③ マスコミ報道件数は15件と計画・前年を上回りました。(計画比100.0%、前年比187.5%)

(2) 消費者のくらし向き調査

年2回、消費者のくらし向きに関するアンケート調査(18年目)に取り組み、県民の消費マインドの傾向を発表し、報道機関を通して広く県民に情報発信することができました。